

「被災地学び支援派遣等枠組み」(D-EST※)の構築(中間まとめ)概要

※ Disaster Education Support Team

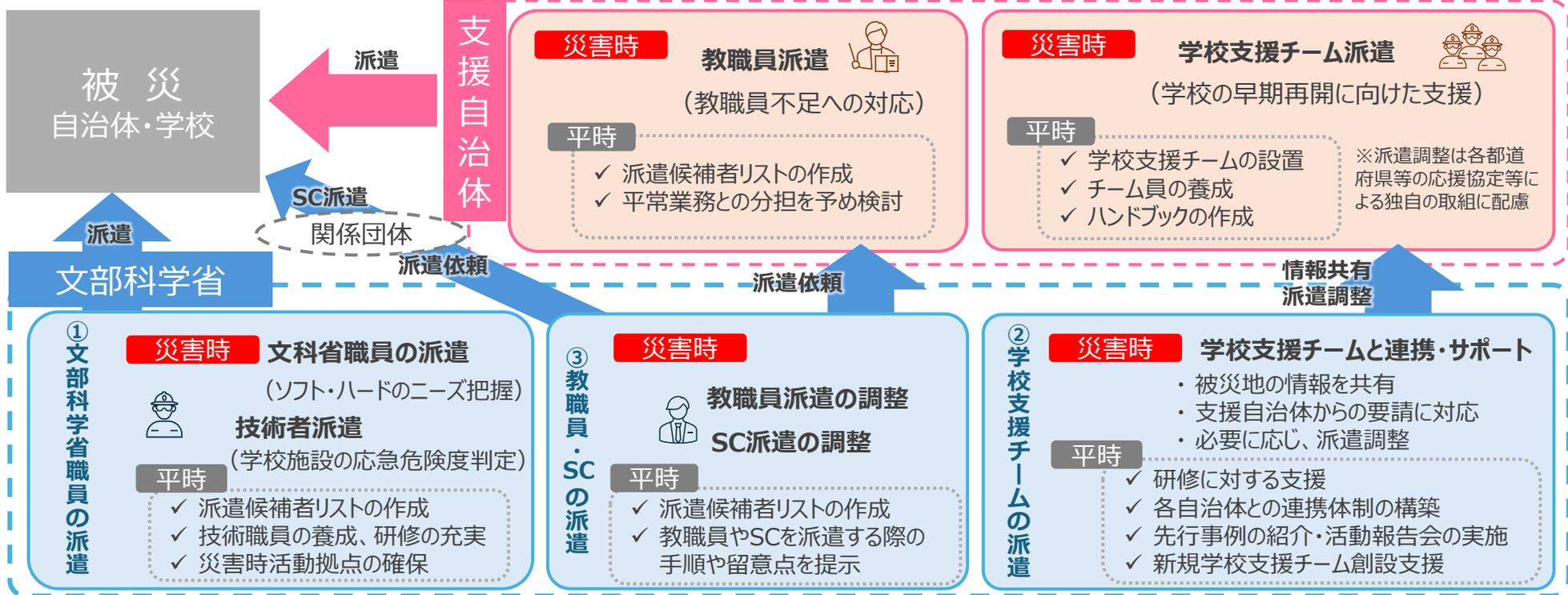
2024年8月26日
省内検討会議



- 能登半島地震では、校舎や教職員等の被災、避難所開設等の状況に対応する学校現場等に対して、
 - ・ 文部科学省による本省職員の派遣や被災地外からの教職員・SC(スクールカウンセラー)の派遣調整
 - ・ 被災地外の5県からの教職員等で構成される「学校支援チーム」※の派遣 等により、被災地における学びの継続や学校の早期再開に向けた被災自治体の取組を支援。

➡ 今後の大規模災害に備え、災害時の早期学校再開のため、被災地の支援ニーズの積極的把握や学校支援チームとの連携など更に取組を推進し、被災地外から教職員等を派遣する枠組みを構築

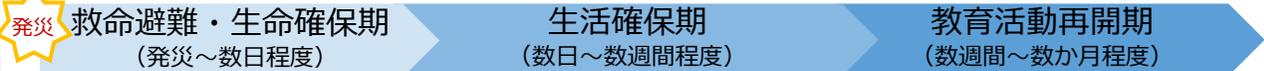
※兵庫・熊本・三重・宮城・岡山の5県がチームを設置



※NPO法人等、民間団体との連携も検討

<学校支援チームとは>

- ・ 訓練された教職員等が被災した学校の支援(避難所の運営支援、学校の早期再開、心のケア等)のため派遣
- ・ 兵庫・熊本・三重・宮城・岡山の5県でチームを設置
- ・ 能登半島地震では発災直後から各県チームが被災地に入り学びの継続や学校の早期再開に向けた支援を実施



施設被害や教職員の被災等の課題がある学校において、被災地の教職員等と連携しつつ支援

被災した学校現場において支援が必要な課題例:

- 児童生徒等の安否確認
- 避難生活の中での学習支援
- 避難所開設支援
- 心のケア
- 教育活動再開支援
- 学校運営の支援
- 教育活動の実施